

令和7年度 研究開発フォーラム（1月21日開催）

ア.研究発表用のプレゼンテーション資料

（令和4年度～令和7年度）

# 知的障害特別支援学校における 生活科・理科・社会科のカリキュラムモデルの創造 -横断的で連続性のある学びを目指して-

筑波大学附属大塚特別支援学校

# 本資料及び説明動画の構成

No.	構成	内容
1	目的・方法 (2分)	(1) 研究の背景・目的・方法
2	結果 (11分)	(1) カリキュラム評価(2分)  (2) 学習指導要領草案 ①<小学部>生活科(3分) ②<中学部>理科・社会科(3分) ③<高等部>理科・社会科(3分)
3	考察 (2分)	(1) 教師集団が主体となるカリキュラム開発 (2) カリキュラムの原理・原則 (3) 知的障害教育の継承と発展

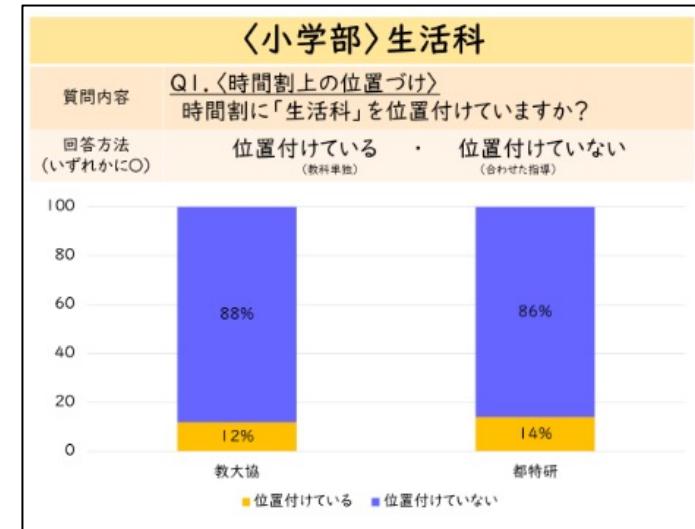
# I. 目的・方法



# 研究の背景

## (1) 知的障害教育における教科別の指導の実践

多くの特別支援学校では、学校教育法施行規則第130条第2項で示されている「領域・教科を合わせた指導（各教科等を合わせた指導）」が教育課程の中心となっており（木村・首藤, 2024; 全国特別支援学校知的障害教育校長会, 2018）、**教科別の指導形態による実践事例が少なく、具体的な事例の蓄積が必要。**



## (2) インクルーシブ教育システムの推進

現行学習指導要領では小中学校と特別支援学校の各教科について、目標や内容の連続性が図られている。この点についてさらに検討しカリキュラムモデルを提案することに研究開発の意義があると考え、**小学校との連続性に焦点化した。**

特別支援学校 中学部 社会科	特別支援学校 高等部 社会科
社会的な見方・考え方を働きかせ、社会的事象について関心をもち、 具体的に考え方や問題解決方法を用いて、自立し生活を豊かにすることとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。	社会的な見方・考え方を働きかせ、社会的事象について関心をもち、 具体的に考察する活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。
(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化 及び外国の様子について、 具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことを通じて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）	(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、 地域や我が国の歴史や伝統と文化 及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動や体験を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
(2) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え方や問題解決方法を用いて、社会への関わり方を表現する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
(3) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。（学びに向かう力、人間性）	(3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習することを社会生活に生かすとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。（学びに向かう力、人間性）
小学校 社会科	
社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。	
(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。	
(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。	

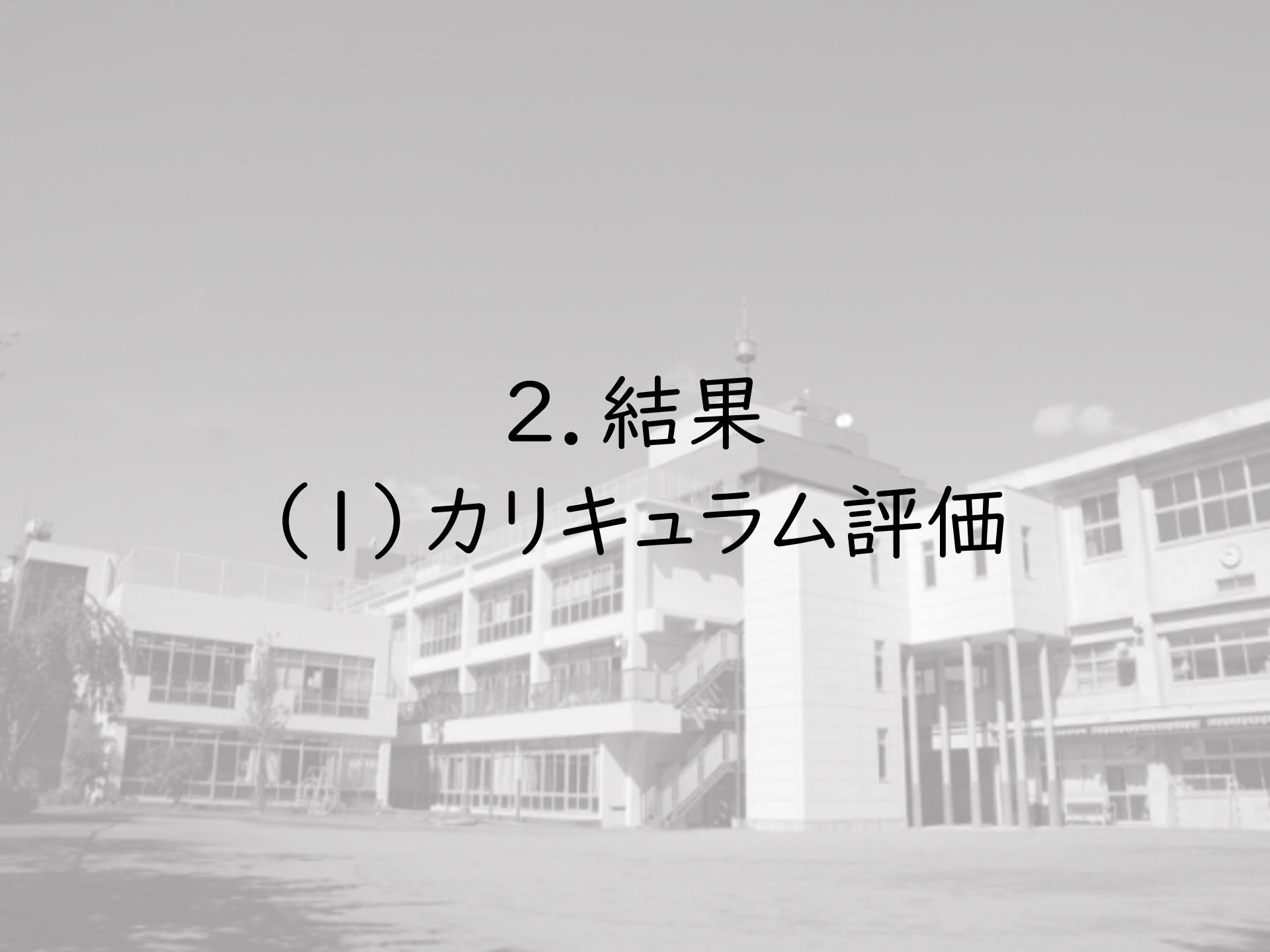
# 本研究の目的・方法

## 本研究の取り組み

①	内容	知的障害特別支援学校「生活科・理科・社会科」の教科別指導に関するカリキュラム開発
②	目的	インクルーシブ教育システムの推進に寄与するカリキュラムモデルの提案
③	目標	研究成果物「学習指導要領草案（生活科・理科・社会科）」の作成

# 本研究におけるカリキュラム開発の考え方

教科	考え方
生活科	<p>授業時数は十分に確保できるため(右図)、児童の実態に応じて段階的に資質・能力を育むことができるカリキュラムを検討する。</p>
理科	<p>授業時間数は限られるため(右図)、内容の精選や創造、そして軽重を検討するとともに、中学部と高等部を連続的に捉えるようにする。</p>
社会科	<p>中学部と高等部を連続的に捉えることで、授業時間数の確保だけでなく、合計6年間を通して生徒の学びを段階的に深め広げることに繋がるカリキュラムを検討する。</p>



## 2. 結果

### (I) カリキュラム評価

## (I) カリキュラム評価

## 本研究のカリキュラム開発の考え方(参考;根津,2009)

1	教師集団がカリキュラム開発の主体となる
2	児童・生徒の学習経験に基づき単元を計画する
3	授業からカリキュラムを改善する（カリキュラム評価）

The image shows a Japanese school assignment sheet. At the top, it says "2024 年度 学校研究" (2024 School Research). Below that is a table with columns for "授業題名" (Lesson Name), "担当教員" (Teacher in Charge), "担当年級" (Grade Level), and "登録番号" (Registration Number). The lesson name is "授業言" (Lesson Word). The teacher's name is listed as "M.T." and the grade level is "3年生" (3rd Grade). The registration number is "0000-0000-0000-0000".

The main title "授業言" is written in large red stylized characters across the top of the page.

Below the title, there are three large red numbers:

- ① 授業言
- ② 単元
- ③ テ

Each number is enclosed in a red circle. There is also a red circle around the word "単元" (Unit).

The assignment sheet contains several sections with numbered instructions and questions:

1. 授業題解説 (Lesson Topic Explanation)  
2. 授業者の紹介 (Introduction of the Teacher)  
3. 授業の流れ (Flow of the Lesson)  
4. 授業の目標 (Lesson Objectives)  
5. 授業の内容 (Content of the Lesson)  
6. 授業の評議 (Evaluation of the Lesson)  
7. 授業の感想 (Feelings about the Lesson)

There are also sections for "参考資料" (Reference Materials) and "参考文献" (References).

2024 年度 学校研究		カリキュラム評価のためのチェックリスト	田中・根津(2009)をもとに、本研究用に改編
(1) ここで「カリキュラム」は皆様学部・代表授業科目に関するカリキュラムであり、学習経験の総体として捉えてください。			
質問内容	点数	短文回答欄	
(2) No.1~No.10 の各点数は10点満点で、主観で評価をしてください。No.11 はNo.10までの点数の合計点を書いてください。			
(3) お手元に持つ時間に対する個人の気づきや考え方、評価改善のためのアイデアなど自由に書いてください。			
1 カリキュラム研究会を通して、検討されたカリキュラムについてどれくらい分かってきましたか？	/10		
2 カリキュラムの実施状況や学習範囲の実態などを踏まえて、カリキュラムが計画されたことについて、どれくらい分かったと思いますか？	/10		
3 カリキュラム（主的目的な学びを大切にすることは前提で、）社会に開かれたカリキュラムという視点では、どれくらい計画・展開されていたと思いますか？	/10		
4 展開したカリキュラムを実施する上で、必要な資源（ひと・もの・こと）について、どの程度どれくらい分かりましたか？	/10		
5 リアルなカリキュラムが何を目指しているのか、その構想やねらいについて、どれくらい分かりましたか？	/10		
6 カリキュラムの構想を実現するために、様々な工夫がなされていることについて、どれくらい分かりましたか？	/10		
7 カリキュラム実施を通過して考えられた学習の成果や課題（学びの移りや改善点など）について、どれくらい分かりましたか？	/10		
8 カリキュラム開発に要したコスト（お金、時間、人手、会議、場所、手間など）について、どれくらい分かりましたか？	/10		
9 他の実践から得た教訓	カリキュラム開発に当たって、他校種も含めて、どれくらい他の実践を参考にしながら検討し、計画・展開されていましたか？	/10	
10 期間	開発したカリキュラムが改訂後の指導要領に反映する場合、他のカリキュラムを変更すると思います。	/10	
11 合計点	開発したカリキュラムは 10 点満点で何点ですか？	/10	
12 お手元の機会	このカリキュラムはどのようにして外部に報告されますか？		

# ①授業評価

# 单元評価

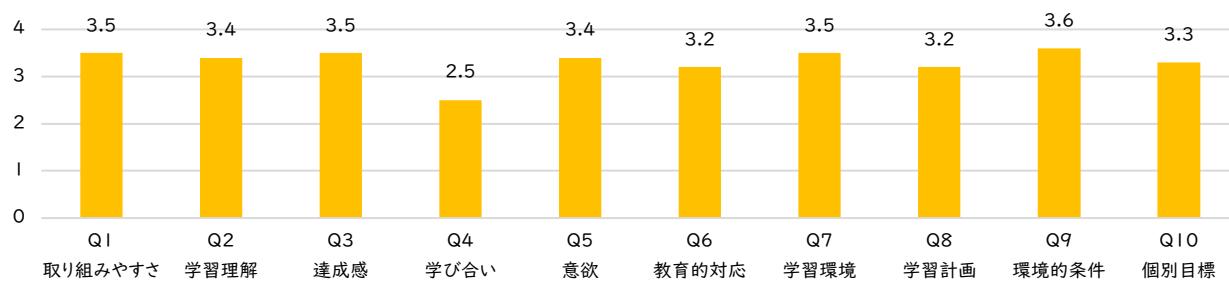
## ③カリキュラム評価

# ①授業評価

No.	観点	質問内容 ※回答は4件法(とても思うー思うーあまり思わないー思わない)
1	取り組みやすさ・安心感	児童・生徒は学習内容を理解し、進んで取り組む姿が見られていたと思う。
2	学習理解	授業者の説明・教示は、児童・生徒にとって分かりやすかったと思う。
3	達成感・充実感	児童生徒が「わかった」「できた」等を実感できる活動に配慮されていたと思う。
4	学び合い	児童生徒は友だちの考えを聞いたり協力したりしようとする姿が見られていたと思う。
5	次時への意欲、期待	児童生徒が次時へ期待をもち、意欲的に取り組もうとする活動に配慮されていたと思う。
6	教育的対応	学習題材は実態及び生活年齢に適したものであると思う。
7	学習環境	授業は、教材教具に工夫されていたと思う。
8	学習の計画	学習計画(時数設定や授業の構成など)は、授業を実施する観点から妥当であると思う。
9	環境的条件	指導者間で指導支援の連携や一貫性が図られていたと思う。
10	個別の目標設定	本時の目標は、児童生徒の実態から妥当であったと思う。

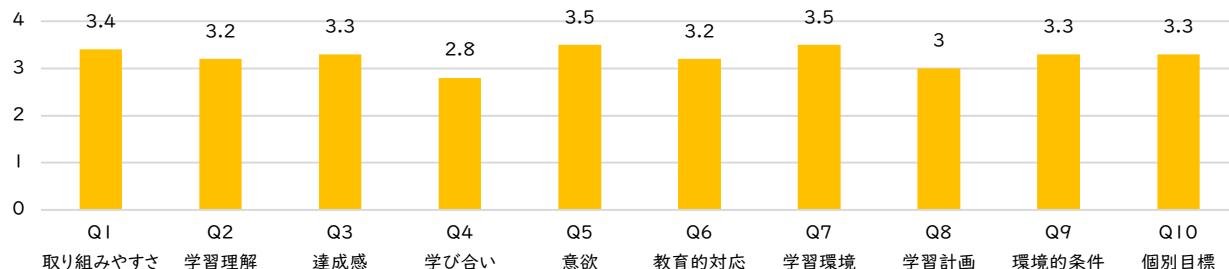
# 第3年次（「授業評価」結果の一部）

## 【小学部はな組（1・2年）・生活科】「うかぶかな？ しづむかな？」



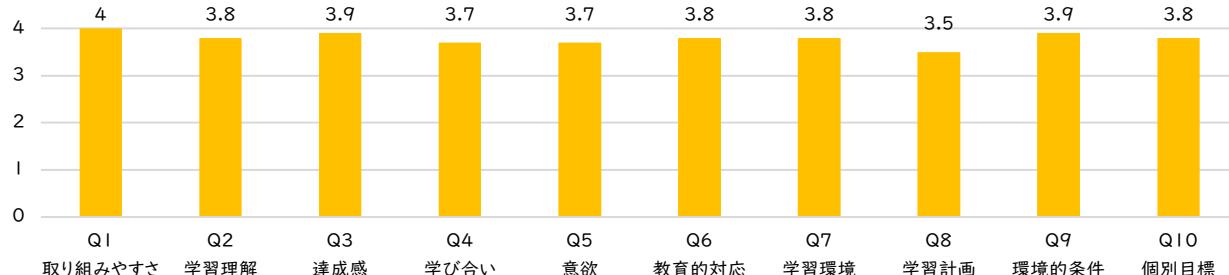
TI 宇佐美教諭

## 【小学部そら組（5・6年）・生活科】「あきのおもちゃでたのしもう」



TI 田中教諭

## 【小学部つき組（3・4年）・生活科】「かぜをつかってあそぼう！」



TI 當眞教諭

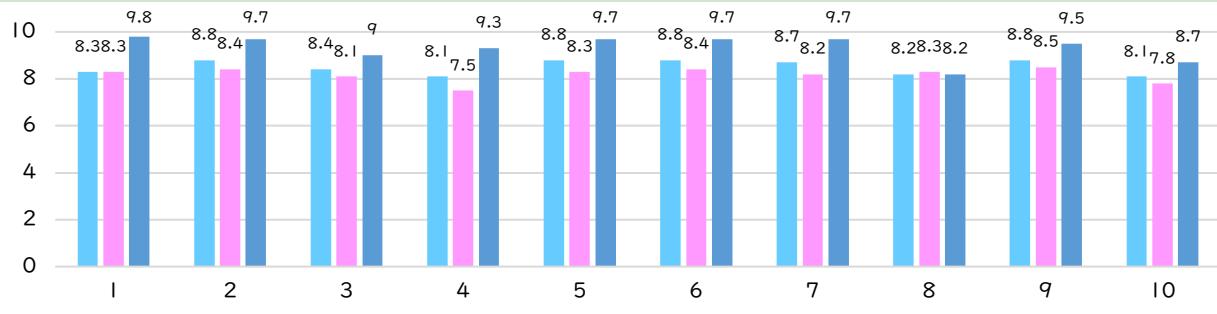
### ③カリキュラム評価

No.	観点	質問内容 ※回答は各項目を10点満点とし、個人ごとに点数化して回答する
1	カリキュラムの共有	主に授業研究会を通して、検討されたカリキュラムについてどれくらい知ることができますか？
2	カリキュラムの背景	学部の教育課程や学習集団の実態などを踏まえて、カリキュラムが計画・実践されたことについて、どれくらい分かったと思いますか？
3	カリキュラムの拡がり	(主体的な学びを大切にすることは前提で、)社会に開かれたカリキュラムという視点では、どれくらい計画・展開されていただと思いますか？
4	展開するための資源	カリキュラムを実施する上で、必要な資源(ひと・もの・こと)について、どれくらい分かりましたか？
5	カリキュラムの構想	カリキュラムが何を目指しているのか、その構想やねらいについて、どれくらい分かりましたか？
6	実現するための工夫	カリキュラムの構想を実現するために様々な工夫がなされていることについて、どれくらい分かりましたか？
7	カリキュラムの結果	カリキュラムの実践を通して考えられた学習の成果や課題(学びの様子や改善点など)について、どれくらい分かりましたか？
8	カリキュラム開発のコスト	カリキュラム開発に要したコスト(お金、時間、人手、場所、手間など)について、どれくらい分かりましたか？
9	他の実践からの学び	カリキュラム開発に当たって、他校種も含めて、どれくらい他の実践を参考にしながら検討し、計画・展開されていたと思いますか？
10	一般化可能性	開発しているカリキュラムが改訂後の指導要領に反映された場合、他の学校でこのカリキュラムを実施できると思いますか？

# 第4年次(「カリキュラム評価」結果の一部)

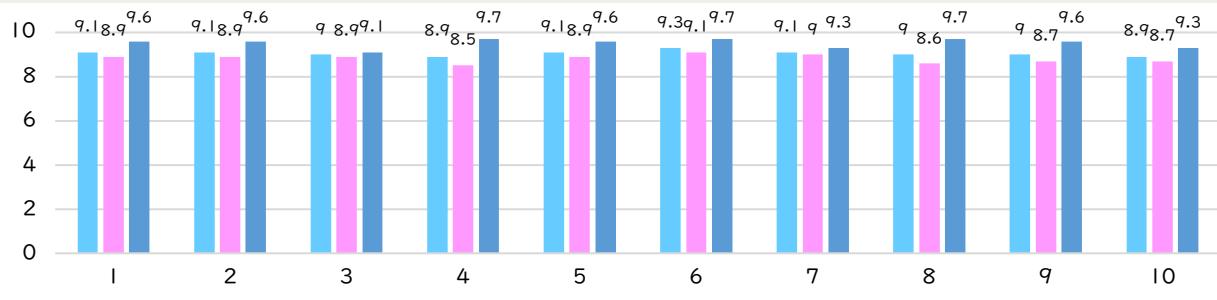
(■全体 ■学部外 ■中学部 ■高等部)

## 【中学部課題別グループ第3班・理科】「物と重さ」



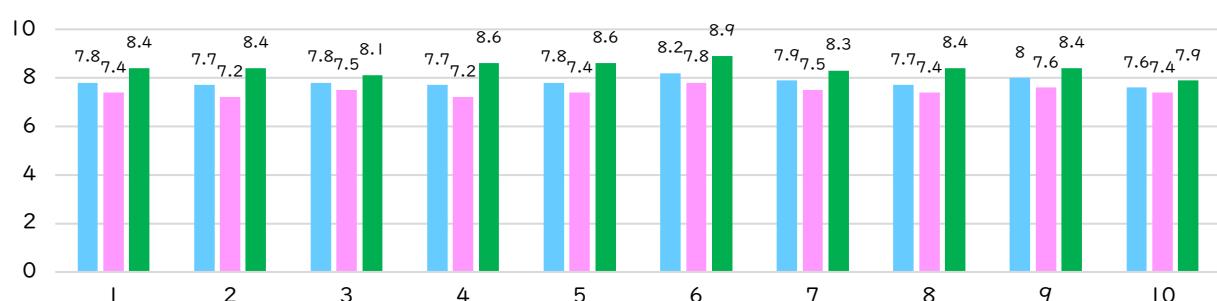
MT 宮林教諭

## 【中学部課題別グループ第3班・理科】「ものの温度と体積(空気、水)」



MT 古江教諭

## 【高等部課題別グループ第3G・理科】「動物の誕生」

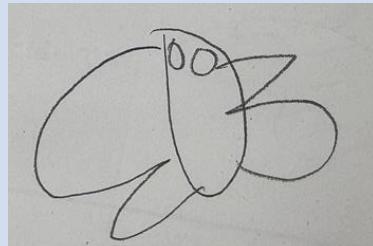


MT 石飛教諭

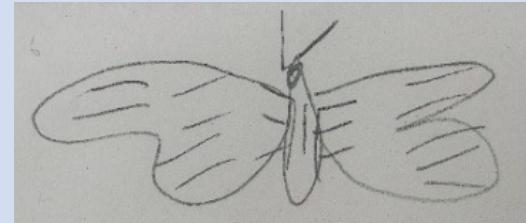
# 児童・生徒、保護者への効果

中学部・理科に関する事例生徒の描画(チョウ)の変容(一部)

2024年 6月



2025年 12月



保護者から寄せられた児童・生徒の様子や感想

・大人と一緒にいることを好んでいた子が先輩、後輩とも上手く関わっていたことに驚きました。(単元:大きくなるっていうことは【小:生活科】)・生活場面での学習、とても勉強になります。家の方でもリサイクルボックスを見つけると一緒に確認するようにし、ぬいぐるみや入れ歯まで回収することを新たに知りました。(単元:公害～つくる責任、つかう責任～【高:社会】)

・お家で妹とモンシロチョウの成虫と幼虫の食べ物の違いについて議論をする姿が見られた。同じ勉強の話題で知的障害の生徒と小学校の妹が盛り上がる姿を見て、学校での理科の学習の効果を感じ、子どもに対する意識が変化しました(単元:身近な昆虫について知ろう【中:理科】)

・生活場面での学習、とても勉強になります。家の方でもリサイクルボックスを見つけると一緒に確認するようにし、ぬいぐるみや入れ歯まで回収することを新たに知りました。(単元:公害～つくる責任、つかう責任～【高:社会】)

## 2. 結果

### (2) 學習指導要領草案

研究開発課題  
知的障害特別支援学校における  
生活科・理科・社会科のカリキュラムモデルの創造  
－横断的で連続性のある学びを目指して－

(草案)

特別支援学校学習指導要領 生活科編

筑波大学附属大塚特別支援学校

# 小学部研究の進め方

1年次  
2022年度

2年次  
2023年度

3年次  
2024年度

4年次  
2025年度

## 生活科 (社会科へ接続する内容)

- ・知的障害特別支援学校学習指導要領に準拠した、小学部生活科カリキュラムの構築と内容の充実
- ・教科横断的な学びの試行と整理
- ・学び方の多様な児童が協同的な活動を通して学び合う、集団の授業づくり
- ・目標を達成するための題材選び、個々の児童に合わせた教材の工夫
- ・「郷土や地域に関する教育」をテーマにした、授業づくり



- ・小学部生活科カリキュラムにおける小学校学習指導要領「生活科」との連続性の検討
- ・中学部・高等部「社会科」へのつながりの検討
- ・教科横断的な学びについての整理
- ・児童の学習と教員の指導改善につながる学習評価（指導と評価の一体化の追究）の検討
- ・「主権者に関する教育」につながる、小学部段階での学習機会の検討

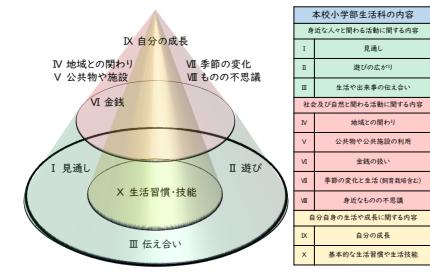


## 生活科 (理科へ接続する内容)

- ・全国質問紙調査(知的障害特別支援学校の小学部生活科について)の実施と考察
  - ・小学校「生活科」との連続性を踏まえた、小学部生活科カリキュラムモデルの構築と目標及び内容の整理
  - ・小学校「生活科」及び「理科」、中学部「理科(草案)」連続性の検討
- <重点的に取り組む内容>  
理科『生命領域』、『伝え合い』、『自分の成長』



- ・「生活科(草案)」目標・内容・取り扱いの統一と検証
  - ・特別支援学校生活科カリキュラムモデルの提案
  - ・小学校「生活科」及び「理科」、中学部「理科(草案)」連続性の検討
- <重点的に取り組む内容>  
理科『生命領域』、『伝え合い』、『自分の成長』



## 特別支援学校 生活科

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようする。
- (2) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然を自己との関りについて捉え、考えたことを表現することができるようとする。
- (3) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

### 「具体的な活動や体験」

見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動であり、また、こうした活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって表現する学習活動  
(小学校学習指導要領解説生活編)

# 生活科内容の関連図



# 本研究における生活科の内容

小学校生活科		本校小学部生活科の内容	特別支援学校生活科
【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】			
(1)	学校と生活	I 見通し	ア 基本的生活習慣
(2)	家庭と生活	II 遊びの広がり	イ 安全
(3)	地域と生活	III 生活や出来事の伝え合い	ウ 日課・予定
【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】			エ 遊び
(4)	公共物や公共施設の利用	IV 地域との関わり	オ 人との関わり
(5)	季節の変化と生活	V 公共物や公共施設の利用	カ 役割
(6)	自然や物を使った遊び	VI 金銭の扱い	キ 手伝い・仕事
(7)	動植物の飼育・栽培	VII 季節の変化と生活(飼育栽培含む)	ク 金銭の扱い
(8)	生活や出来事の伝え合い	VIII 身近なものの不思議	ケ きまり
【自分自身の生活や成長に関する内容】			コ 社会の仕組みと公共施設
(9)	自分の成長	IX 自分の成長	サ 生命・自然
		X 基本的な生活習慣や生活技能	シ ものの仕組みと働き

# 本研究における生活科の内容(案)

本校小学部生活科の内容		特別支援学校生活科	小学校生活科
身近な人々と関わる活動に関する内容			
I	見通し(集団生活における日課・予定)	ウ(日課予定)から作成	
II	遊びの広がり	エ(遊び)オ(人との関わり)から作成	
III	生活や出来事の伝え合い	オ(人との関わり)カ(役割)	(8)から作成
社会及び自然と関わる活動に関する内容			
IV	地域との関わり	オ(人との関わり)コ(社会の仕組み)	(3)と同様
V	公共物や公共施設の利用	ケ(きまり)コ(社会の仕組み)	(4)と同様
VI	金銭の扱い	ク(金銭の扱い)から作成	
VII	季節の変化と生活(飼育栽培含む)	サ(生命・自然)	(5)から作成 (7)動植物の飼育・栽培
VIII	身近なものの不思議	シ(ものの仕組みと働き)から作成	(6)自然や物を使った遊びから作成
自分自身の生活や成長に関する内容			
IX	自分の成長	カ(役割)キ(手伝い・仕事)	(9)と同様
X	基本的な生活習慣や生活技能	ア(基本的生活習慣)、イ(安全)から 作成 キ(手伝い・仕事)	(1)学校と生活(2)家庭と生活

本校小学部生活科の内容	
身近な人々と関わる活動に関する内容	
I	見通し（集団生活における日課・予定）
II	遊びの広がり
III	生活や出来事の伝え合い
社会及び自然と関わる活動に関する内容	
IV	地域との関わり
V	公共物や公共施設の利用
VI	金銭の扱い
VII	季節の変化と生活（飼育栽培含む）
VIII	身近なもののはず
自分自身の生活や成長に関する内容	
IX	自分の成長
X	基本的な生活習慣や生活技能

# 黄色マーカー 理科につながる内容

小学校生活科		本校小学部生活科の内容	特別支援学校生活科
【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】			
(1)	学校と生活	I 見通し	ア 基本的生活習慣
(2)	家庭と生活	II 遊びの広がり	イ 安全
(3)	地域と生活	III 生活や出来事の伝え合い	ウ 日課・予定
【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】			エ 遊び
(4)	公共物や公共施設の利用	IV 地域との関わり	オ 人との関わり
(5)	季節の変化と生活	V 公共物や公共施設の利用	カ 役割
(6)	自然や物を使った遊び	VI 金銭の扱い	キ 手伝い・仕事
(7)	動植物の飼育・栽培	VII 季節の変化と生活(飼育栽培含む)	ク 金銭の扱い
(8)	生活や出来事の伝え合い	VIII 身近なものの不思議	ケ きまり
【自分自身の生活や成長に関する内容】			コ 社会の仕組みと公共施設
(9)	自分の成長	IX 自分の成長	サ 生命・自然
		X 基本的な生活習慣や生活技能	シ ものの仕組みと働き

# 緑色マーカー　社会科につながる内容

小学校生活科		本校小学部生活科の内容	特別支援学校生活科
【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】			
(1)	学校と生活	I 見通し	ア 基本的生活習慣
(2)	家庭と生活	II 遊びの広がり	イ 安全
(3)	地域と生活	III 生活や出来事の伝え合い	ウ 日課・予定
【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】			エ 遊び
(4)	公共物や公共施設の利用	IV 地域との関わり	オ 人との関わり
(5)	季節の変化と生活	V 公共物や公共施設の利用	カ 役割
(6)	自然や物を使った遊び	VI 金銭の扱い	キ 手伝い・仕事
(7)	動植物の飼育・栽培	VII 季節の変化と生活(飼育栽培含む)	ク 金銭の扱い
(8)	生活や出来事の伝え合い	VIII 身近なものの不思議	ケ きまり
【自分自身の生活や成長に関する内容】			コ 社会の仕組みと公共施設
(9)	自分の成長	IX 自分の成長	サ 生命・自然
		X 基本的な生活習慣や生活技能	シ ものの仕組みと働き

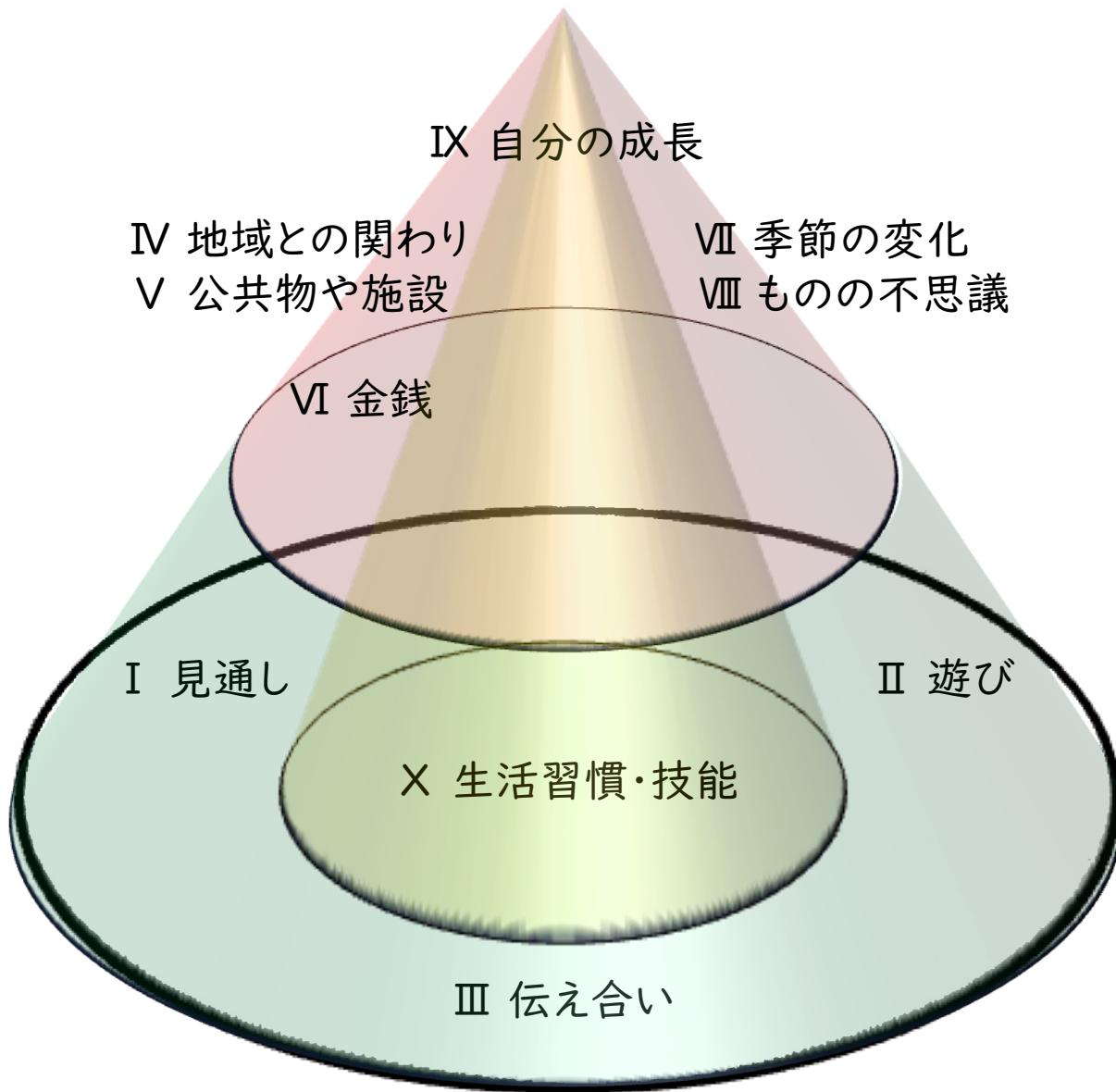
# 水色マークー 職業・家庭科につながる内容

小学校生活科		本校小学部生活科の内容	特別支援学校生活科
【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】			
(1)	学校と生活	I 見通し	ア 基本的生活習慣
(2)	家庭と生活	II 遊びの広がり	イ 安全
(3)	地域と生活	III 生活や出来事の伝え合い	ウ 日課・予定
【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】			エ 遊び
(4)	公共物や公共施設の利用	IV 地域との関わり	オ 人との関わり
(5)	季節の変化と生活	V 公共物や公共施設の利用	カ 役割
(6)	自然や物を使った遊び	VI 金銭の扱い	キ 手伝い・仕事
(7)	動植物の飼育・栽培	VII 季節の変化と生活(飼育栽培含む)	ク 金銭の扱い
(8)	生活や出来事の伝え合い	VIII 身近なものの不思議	ケ きまり
【自分自身の生活や成長に関する内容】			コ 社会の仕組みと公共施設
(9)	自分の成長	IX 自分の成長	サ 生命・自然
		X 基本的な生活習慣や生活技能	シ ものの仕組みと働き

# 中学部と連続する内容

小学校生活科		本校小学部生活科の内容	特別支援学校生活科
【学校、家庭及び地域の生活に関する内容】		身近な人々と関わる活動に関する内容	
(1)	学校と生活	I 見通し	ア 基本的生活習慣
(2)	家庭と生活	II 遊びの広がり	イ 安全
(3)	地域と生活	III 生活や出来事の伝え合い	ウ 日課・予定
【身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容】		社会及び自然と関わる活動に関する内容	エ 遊び
(4)	公共物や公共施設の利用	IV 地域との関わり	オ 人との関わり
(5)	季節の変化と生活	V 公共物や公共施設の利用	カ 役割
(6)	自然や物を使った遊び	VI 金銭の扱い	キ 手伝い・仕事
(7)	動植物の飼育・栽培	VII 季節の変化と生活(飼育栽培含む)	ク 金銭の扱い
(8)	生活や出来事の伝え合い	VIII 身近なものの不思議	ケ きまり
【自分自身の生活や成長に関する内容】		自己自身の生活や成長に関する内容	コ 社会の仕組みと公共施設
(9)	自分の成長	IX 自分の成長	サ 生命・自然
		X 基本的な生活習慣や生活技能	シ ものの仕組みと働き

# 内容の構造図



本校小学部生活科の内容	
身近な人々と関わる活動に関する内容	
I	見通し
II	遊びの広がり
III	生活や出来事の伝え合い
社会及び自然と関わる活動に関する内容	
IV	地域との関わり
V	公共物や公共施設の利用
VI	金銭の扱い
VII	季節の変化と生活(飼育栽培含む)
VIII	身近なものの不思議
自分自身の生活や成長に関する内容	
IX	自分の成長
X	基本的な生活習慣や生活技能



## 〈小学部 生活科〉 ○○年度 単元配列

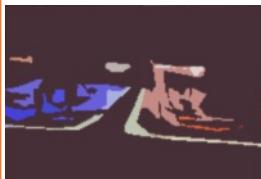
1学期

2学期

3学期

はな組（1・2年）

「友達と仲良くなろう」  
(II遊び)



「水で遊ぼう」  
(II遊び  
VII季節の変化と生活)



「野菜を育てよう」  
(VII季節の変化と生活)



「大塚祭がんばろう」  
(I見通し III伝え合い)



「動物園（水族館）に行こう」  
(II遊び VII季節の変化と生活)



つき組（3・4年）

「野菜を育てよう！観察しよう！」  
(VII季節の変化と生活)



「合宿に行こう！」  
(I見通し V公共物や  
公共施設の利用 VI金  
銭の扱い)



「伝えよう！合宿の思い出！  
(大塚祭にむけて)」  
(I見通し III伝え合い)



「かぜをつかってあそぼう！」  
(VIII身边なもの不思議)



「おしえよう！きいてみよう！  
みんなの好きなあそび②」  
(II遊びの広がり III生活や  
出来事の伝え合い)



「もうすぐ4・5年生」  
(I見通し  
IX自分の成長)

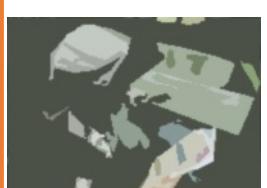


そら組（5・6年）

「季節の花を育てよう、見つけよう」  
(VII季節の変化と生活)



「富士山の麓を探検しよう」  
(V公共物や公共施設の利用)



「みんなのまちを探検しよう」  
(IV地域との関わり)



「あきのおもちゃでたのしもう」  
(VIII身边のもの不思議)



「できるようになったことを集めよう！」  
(IX自分の成長)



「卒業式をがんばろう！」  
(I見通し  
IX自分の成長)



## 〈小学部 生活科〉 ある学習集団の6年間の単元配列（社会科につながる内容）

	1学期	2学期	3学期
1・2年次	<p>「おでかけしよう！」 (II遊び IV地域との関わり V公共物や公共施設の利用 VI金銭の扱い)</p> 	<p>「おでかけしよう2」 (II遊び IV地域との関わり V公共物や公共施設の利用 VI金銭の扱い)</p> 	<p>「おでかけしよう3」 (II遊び IV地域との関わり V公共物や公共施設の利用 VI金銭の扱い)</p> 
3・4年次	<p>「合宿に行こう！」 (I見通し V公共物や公共施設の利用 VI金銭の扱い)</p> 	<p>「図書館に行こう」 「町(学校周辺)をたんけんしよう」 (IV地域との関わり V公共物や公共施設の利用)</p> 	<p>「校外学習(お別れ遠足)」 (V公共物や公共施設の利用 VI金銭の扱い)</p> 
5・6年次	<p>「富士山の麓を探検しよう」 (V公共物や公共施設の利用)</p> 	<p>「みんなのまちを探検しよう」 (IV地域との関わり)</p> 	<p>「みんなのまちを探検しよう」 (IV地域との関わり)</p> 

# 〈小学部 生活科〉 ある学習集団の6年間の単元配列(理科につながる内容)

1 学期

2 学期

3 学期

1・2 年次

「いきものを育てよう!」  
(VII季節の変化と生活)



「うかぶかな?  
しむかな?」  
「水で動かそう!」  
(VIII身近なものの不思議)



「ふわふわ?ちくちく?  
(動物をさわりに行こう)」  
(VII季節の変化と生活)



「季節のコレクション」  
(VII季節の変化と生活)



「ビー玉コースターをつくってあそぼう!」  
(II遊び VIII身近なものの不思議)



3・4 年次

「野菜を育てよう!観察しよう!」  
(VII季節の変化と生活)



「月のかんさつ!」  
「日なたと日かけ」  
(VIII身近なものの不思議)



「かぜをつかってあそぼう!」  
「ゴムをつかってあそぼう!」  
(VIII身近なものの不思議)



5・6 年次

「物と重さ」  
(VIII身近なものの不思議)



「あきの  
おもちゃで  
たのしもう」  
(VIII身近なものの不思議)



「季節の花を  
育てよう、  
見つけよう」  
(VII季節の変化と生活)



本校小学部生活科の内容	
身近な人々と関わる活動に関する内容	
I	見通し（集団生活における日課・予定）
II	遊びの広がり
III	生活や出来事の伝え合い
社会及び自然と関わる活動に関する内容	
IV	地域との関わり
V	公共物や公共施設の利用
VI	金銭の扱い
VII	季節の変化と生活（飼育栽培含む）
VIII	身近なもののはず
自分自身の生活や成長に関する内容	
IX	自分の成長
X	基本的な生活習慣や生活技能

# 生活科草案 目標と評価

※参考資料

## 内容Ⅰ 見通し

学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって安定して活動に参加しようとすることができ、身近な予定を立てて活動する習慣や技能を身に付け、見通しをもって安定して行動したり、主体的に行動したり、生活に活かしたりしようとする。

目標	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
	評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、身近な予定を立てて活動する習慣や技能を身に付ける。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって安定して活動に参加しようとすることができる。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、見通しをもって安定して行動したり、主体的に行動したり、生活に活かしたりしようとする。</p>	<p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、身近な予定を立てて活動する習慣や技能を身に付ける。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって安定して活動に参加しようとすることができる。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、見通しをもって安定して行動したり、主体的に行動したり、生活に活かしたりしようとする。</p>	<p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、身近な予定を立てて活動する習慣や技能を身に付ける。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって安定して活動に参加しようとすることができる。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、見通しをもって安定して行動したり、主体的に行動したり、生活に活かしたりしようとする。</p>	<p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、身近な予定を立てて活動する習慣や技能を身に付けています。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって安定して活動に参加しようとしています。</p> <p>学校行事や家庭の予定などに関わる学習活動を通して、見通しをもって安定して行動したり、主体的に行動したり、生活に活かしたりしようとしている。</p>

## 内容Ⅱ 遊びの広がり

生活の中での遊びに関する学習活動を通して、人と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとすることができ、きまりのある遊びや人と仲良く遊ぶ知識や技能を身に付け、自分の好きなものやことを見つけ、愛着をもって人と関わろうとする。

目標	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、きまりのある遊びや人と仲良く遊ぶ知識や技能を身に付ける。	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、人と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとすることができる。	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、人と関わりをもち、自分の好きなものやことを見つけ、愛着をもって人と関わろうとする。
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、きまりのある遊びや人と仲良く遊ぶ知識や技能を身に付けています。	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、人と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。	生活の中での遊びに関する学習活動を通して、人と関わりをもち、自分の好きなものやことを見つけ、愛着をもって人と関わろうとしている。

### 内容Ⅲ 生活や出来事の伝え合い

自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

目標	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、身近な人と関わることのよさや楽しさが分かる。	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、進んで触れ合い交流しようとする。
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、身近な人と関わることのよさや楽しさが分かっている。	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活を身近な人と伝え合う活動を通して、身近な人と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとしている。

#### 内容IV 地域との関わり

地域に関する活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分達の生活はさまざまな人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

目標	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
	地域に関する活動を通して、自分達の生活はさまざまな人や場所と関わっていることが分かる。	地域に関する活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができる。	地域に関する活動を通して、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域に関する活動を通して、自分達の生活はさまざまな人や場所と関わっていることが分かっている。	地域に関する活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。	地域に関する活動を通して、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。

## 内容Ⅴ 公共物や公共施設の利用

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切にし、安全に気をつけて正しく利用しようとする。

### 知識及び技能の基礎

公共物や公共施設を利用する活動を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かる。

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる。

### 学びに向かう力、人間性等

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらを大切にし、安全に気をつけて正しく利用しようとする。

目標

### 知識・技能

公共物や公共施設を利用する活動を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かっている。

### 思考・判断・表現

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりしている。

### 主体的に学習に取り組む態度

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらを大切にし、安全に気をつけて正しく利用している。

評価規準

## 内容VI 金銭の扱い

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、金銭の大切さや必要性、価値について分かり扱うことができ、金銭を扱う習慣や技能を身に付け、必要な物を選択して購入し、活用しようとする。

### 知識及び技能の基礎

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、金銭を扱う習慣や技能を身に付ける。

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、金銭の大切さや必要性、価値について分かり扱うことができる。

### 学びに向かう力、人間性等

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、必要な物を選択して購入し、活用しようとする。

目標

### 知識・技能

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、金銭を扱う習慣や技能を身に付けている。

### 思考・判断・表現

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、金銭の大切さや必要性、価値について分かり扱っている。

### 主体的に学習に取り組む態度

簡単な買い物や金銭に関する学習活動を通して、必要な物を選択して購入し、活用している。

評価規準

## 内容VII 季節の変化と生活

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや変化、特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

### 知識及び技能の基礎

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付く。

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや変化、特徴を見付けることができる。

### 学びに向かう力、人間性等

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

目標

### 知識・技能

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。

### 思考・判断・表現

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや変化、特徴を見付けている。

### 主体的に学習に取り組む態度

身近な自然を観察・飼育・栽培したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。

評価規準

## 内容VIII 身近なものの不思議

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、繰り返し取り組んだことについて表現することができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、自分なりの考え方をもち、生活を豊かにしようとする。

### 知識及び技能の基礎

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付く。

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、繰り返し取り組んだことについて表現することができる。

### 学びに向かう力、人間性等

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、自分なりの考え方をもち、生活を豊かにしようとする。

目標

評価規準

### 知識・技能

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付いている。

### 思考・判断・表現

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、繰り返し取り組んだことについて表現している。

### 主体的に学習に取り組む態度

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、自分なりの考え方をもち、生活を豊かにしようとしている。

## 内容IX 自分の成長

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これから成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

目標	知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
	評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。</p>	<p>自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができる。</p>	<p>自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これから成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。</p>	

## 内容X 基本的な生活習慣や生活技能

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、それらが分かり、生活に役立てようとすることができ、生活に必要な身辺処理、健康、安全に関する習慣や技能を身に付け、自信をもって自ら取り組もうとしたり、自ら安全に留意したりしようとする。

### 知識及び技能の基礎

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、生活に必要な身辺処理、健康、安全に関する習慣や技能を身に付ける。

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、それらが分かり、生活に役立てようとすることができる。

### 学びに向かう力、人間性等

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、自信をもって自ら取り組もうとしたり、自ら安全に留意したりしようとする。

目標

### 知識・技能

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、生活に必要な身辺処理、健康、安全に関する習慣や技能を身に付けています。

### 思考・判断・表現

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、それらが分かり、生活に役立てようとしている。

### 主体的に学習に取り組む態度

基本的生活習慣や生活に役立つことに関する学習活動を通して、自信をもって自ら取り組もうとしたり、自ら安全に留意したりしようとしている。

評価規準



筑波大学附属大塚特別支援学校

研究開発

中学部理科・社会科

R8年 1月 21日 (水)



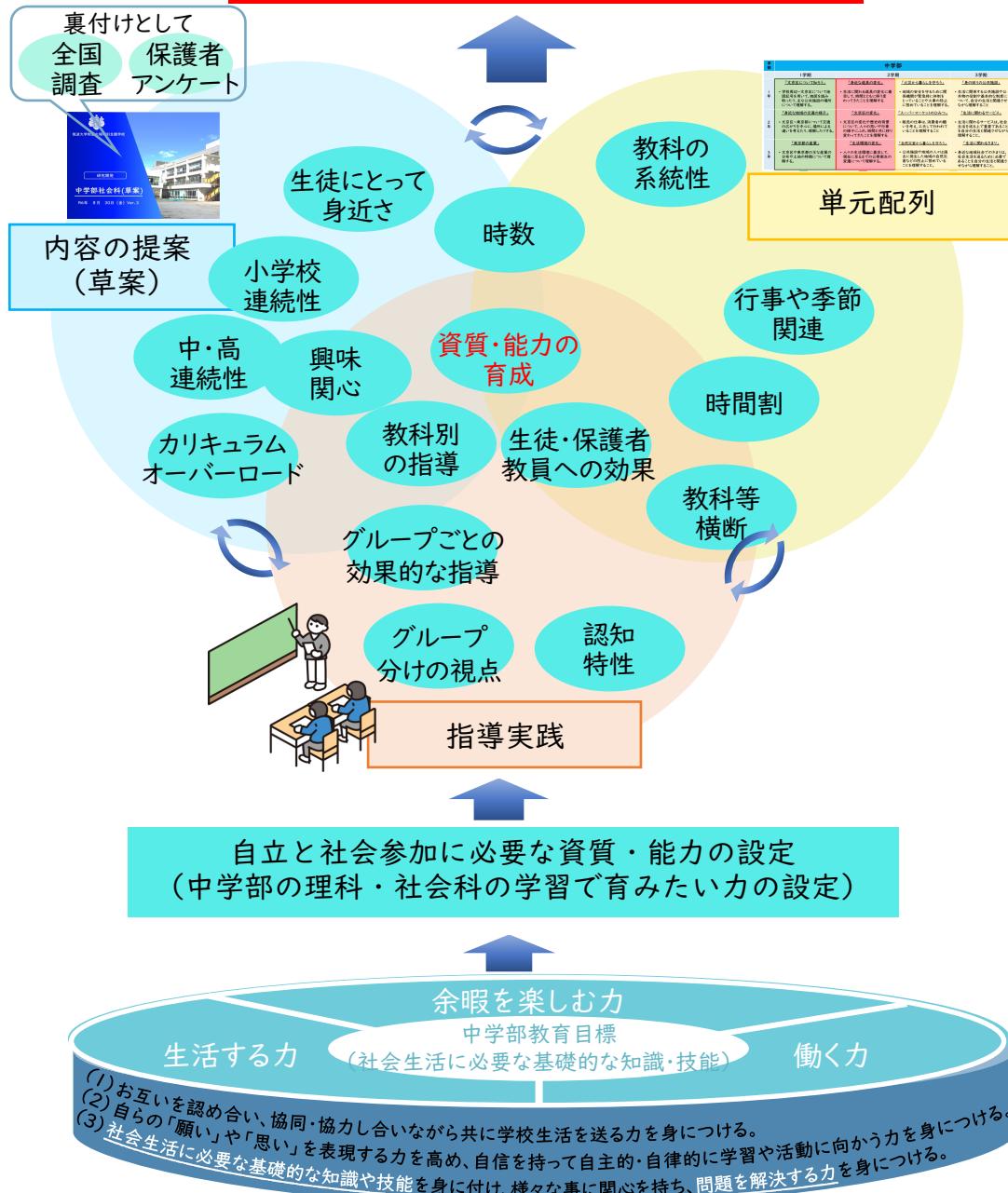
# 01 中学部のカリキュラム提案までの流れ

知的理科社会科の効果的な  
指導・支援・カリキュラムの提案

## 中学部の理科・社会科の学習で 育みたい資質・能力の設定

- 学校・学部教育目標
- 中学部で目指す姿

- ① 将来の「自立と社会参加」につながる社会的事象について関心をもち、具体的な活動や体験から自分の生活と結びつけて、生活をより豊かにするためにできることを具体的に考える（力）  
② 選択・判断を通して自らの「願い」や「意志」を表現し、さらに他者と協同・協力しあいながら問題解決することで、社会をより良くするための発信をする（力）  
例：社会科



## 02 草案の作成にあたって

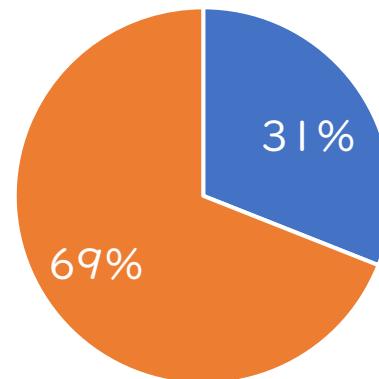
### ✓ 現行指導要領の課題

現行指導要領の内容が知的障害のある生徒にとって、見方・考え方を働かせて資質・能力を育成することが難しい**コンテンツ・オーバーロード**となっている可能性。



これまでの本校中学部の実践や全国調査から同様の課題があると考えられる。

理科指導要領の内容の取り扱いについて



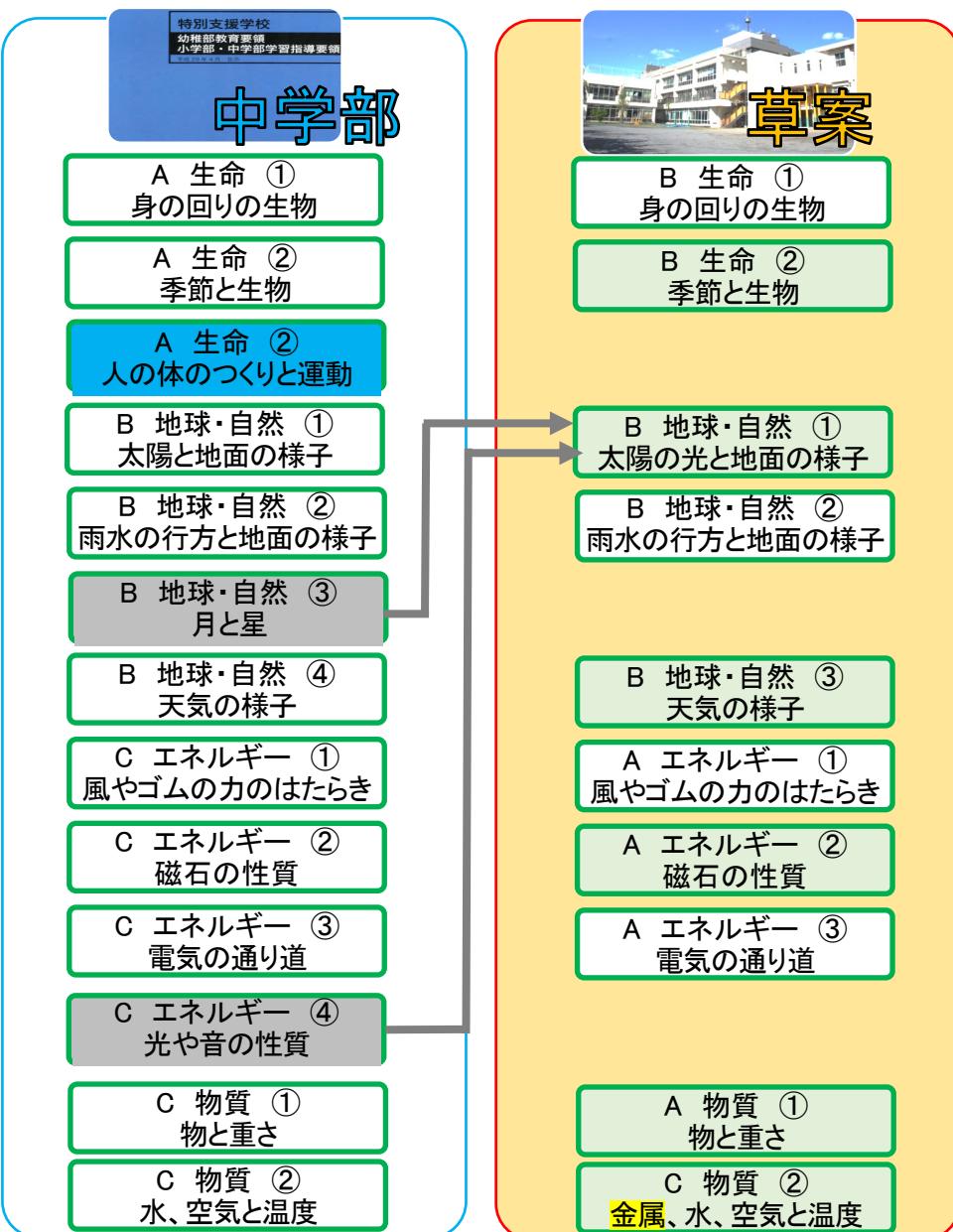
- 50%以上取り扱えている
- 50%以上取り扱えていない

約7割の学校が半分も取り扱えていないとの回答  
※社会科も同様

### ✓ 草案作成の視点（研究開発の特例を踏まえて）

- コンテンツ・オーバーロードの克服  
→現行の指導要領の目標の精選や内容の取り扱いの整理
- 自立と社会参加につながる内容の検討  
→小学校理科、小学校社会科の指導要領の内容も踏まえながら、**知的障害のある生徒にとって学習する意義の高いと考えられる社会的事象や自然事象**について検討
- 小学部・高等部との連続性や年間時数35時間を想定  
→中学部は小学部と高等部との**結節点**であるという視点

# 03 本研究における理科の内容



青→高等部の内容として移行  
グレー→内容の取り扱いとして統合  
黄→小学校の目標を加える  
黄緑→内容の取り扱いの変更

領域	現行指導要領 内容数	草案 内容数	想定時数 (3年間)
生命	3	2 (-1)	14
地球	4	3 (-1)	21
エネルギー	4	3 (-1)	21
粒子	2	2	21

生命領域+他の各領域で35時間

週に1時間程度となり、知的障害特別支援学校において教科別の指導として想定される時数に対して、妥当なコンテンツであると考えられる。

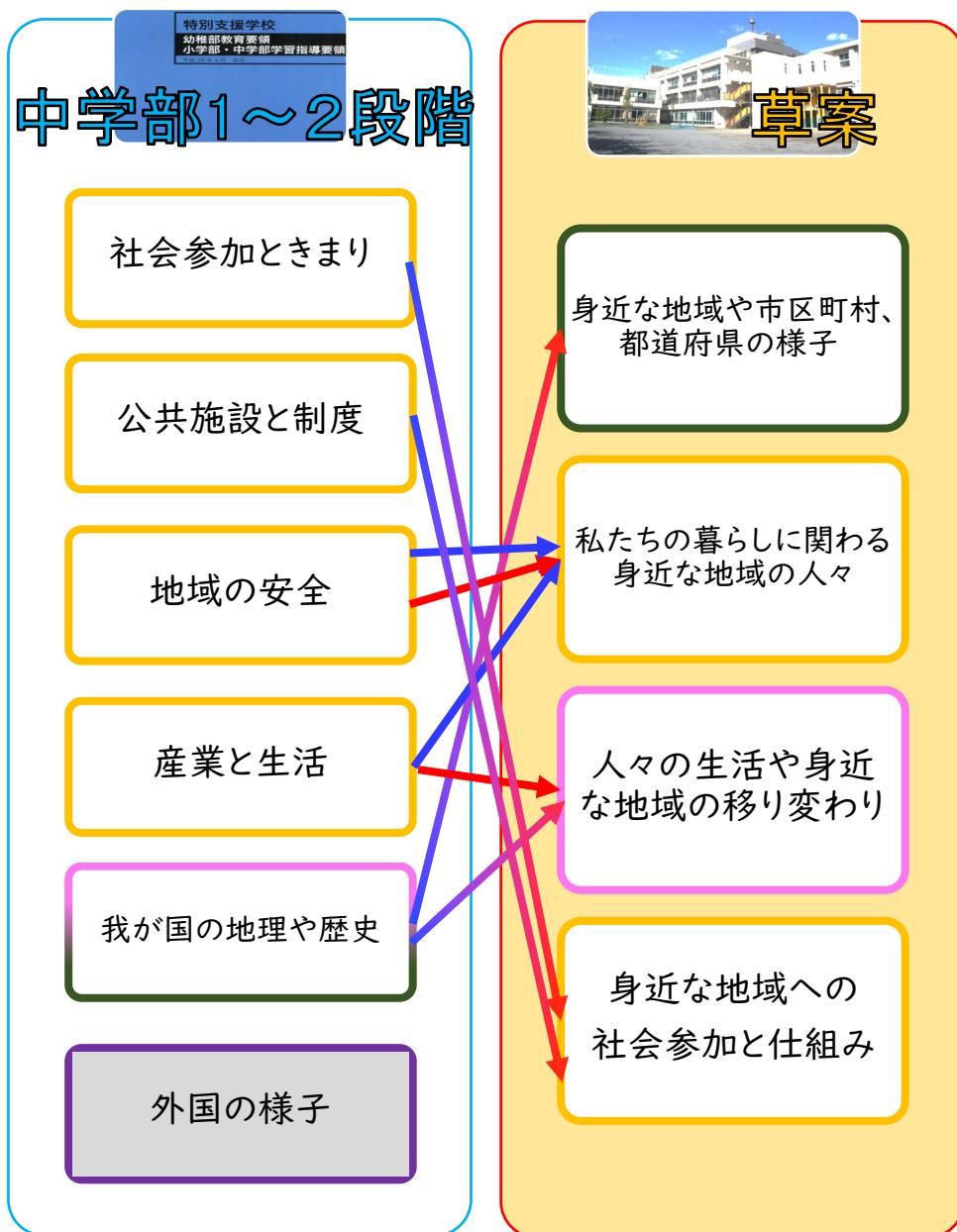
# 04 本研究における理科の内容

## 理科単元配列

- 年間35時間（週1時間）を想定すると、各単元は7時間程度
- 「内容の系統性・段階性」、「行事や季節との関連」を踏まえて作成
- 生命領域は、具体的な物の観察などイメージをもちやすく、飼育、栽培を通した指導をより効果的なものにするためにクラスで実施

	1学期	2学期	3学期	指導体制
1年次	太陽の光と地面の様子 【地学領域】	天気の様子 【地学領域】	雨水の行方と地面の様子 【地学領域】	課題別
	身の回りの生物(昆虫)、季節と生物 【生命領域】			クラス
2年次	物と重さ 【粒子領域】	金属、水、空気と温度① 【粒子領域】	金属、水、空気と温度② 【粒子領域】	課題別
	身の回りの生物(植物)、季節と生物 【生命領域】			クラス
3年次	風とゴムの力の働き 【エネルギー領域】	電気の通り道 【エネルギー領域】	磁石の性質 【エネルギー領域】	課題別
	身の回りの生物(生物)、季節と生物 【生命領域】			クラス

# 05 本研究における社会科の内容



グレー→内容の取り扱いとして統合  
青矢印→中学部1段階内容  
赤矢印→中学部2段階内容  
全ての内容の文言は、小学校社会科3~4年生を踏まえて再構築

分野	現行指導要領 目標数(知識) 1~2段階	草案 目標数(知識)	想定時数 (3年間)
地理	3	2	30
歴史	2	2	30
公民	16	4	45

▼  
目標数を削減→知的障害特別支援学校で無理なく取り組めるように

取り扱える社会的事象は減らさずに内容の取り扱いとして記載。各学校の生徒の実態や卒業後の進路に合わせて取り扱う社会的事象を各学校で選択しながら学習を進められるように再構築

# 06 本研究における社会科の内容

## ✓ 社会科単元配列

- 年間35時間（週1時間）を想定
- 「内容の系統性」、「行事との関連」を踏まえて作成
- 知的障害のある生徒の学習の特性を考慮して、各年度で3つの分野を繰り返し、**反復的に**各分野の学習に取り組むことができるよう作成

	1学期	2学期	3学期	
1年	<p>「文京区について知ろう」 【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 学校周辺～文京区について地図記号を用いて、地図を読み取ったり、主な公共施設の場所について理解する。</li></ul>	<p>「身近な道具の変化」 【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 生活に関わる道具の変化に着目して、時間とともに移り変わってきたことを理解する</li></ul>	<p>「火災から暮らしを守ろう」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域の安全を守るために関係機関が緊急時に体制をとっていることや火事の防止に努めていることを理解する。</li></ul>	<p>「身の回りの公共施設」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 生活に関係する公共施設や公共物の役割や基本的な制度について、自分の生活と関連させながら理解する。</li></ul>
2年	<p>「身近な地域の交通の様子」 【地理的分野】</p> <p>文京区～東京都について交通の広がりを中心に、場所による違いを理解する。</p>	<p>「文京区の変化」 【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文京区の変化や歴史的背景について、人々の思いや行事の様子にふれ、時間と共に移り変わってきたことを理解する</li></ul>	<p>「スーパー・マーケットのひみつ」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 販売の仕事は、消費者の願いを考え、工夫して行われていることを理解する。</li></ul>	<p>「生活に関わるサービス」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 生活に関わるサービスは、社会生活を送る上で重要であることを自分の生活と関連させながら理解する。</li></ul>
3年	<p>「東京都の産業」 【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文京区や東京都の主な産業の分布や土地の特徴について理解する。</li></ul>	<p>「生活環境の変化」 【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 現在に至るまでの人々の生活環境の変遷について理解する。</li></ul>	<p>「自然災害から暮らしを守ろう」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 公共施設や地域の人々は過去に発生した地域の自然災害などの防止に努めていることを理解する。</li></ul>	<p>「生活に関わるきまり」 【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 身近な地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを自分の生活と関連させながら理解する。</li></ul>



## 時間割における位置付け

- より思考を促すために午前中に実施
- 知的障害のある生徒の学習の特性を考慮して理科と社会科を交互に実施し、**単元のまとめ取り**する

※「まとめ取り」とは、各単元の授業時数を集中的に確保する方法である。校外学習や実験などの体験的活動の振り返りを即時的に行い、学習効果を高めた。

	月	火	水	木	金
1 8:30~9:20	朝の活動				
2 9:25~10:15	数学	数学	国語	国語	特別活動
3 10:20~11:10	生活単元学習	作業学習	社会／理科	社会／理科	美術／職業・家庭 *隔週
4 11:15~12:05			生活単元学習	自立活動	
屋食 12:30~12:50	給食				
5 13:05~13:55	A音楽／ B英語	作業学習	保健体育	A英語 ／B音楽	総合的な学習 の時間／道徳 *隔週
6 14:00~14:50	帰りの活動			掃除 (職業・家庭)	帰りの活動
7 14:55~15:20	帰りの活動				
下校時刻	14:20	15:20	15:20	15:20	14:20



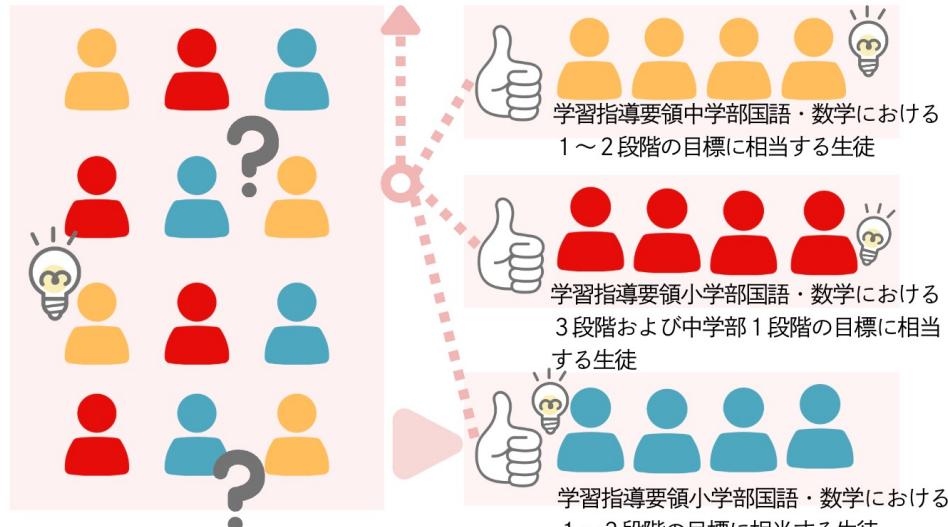
## 実態に応じたグループ別指導

- 知識・技能（言語理解・数量の理解）
- 思考・判断・表現（考える力・表現する力）
- 学習に取り組む態度



3つの観点から実態を踏まえた  
グループを編成

生徒にとっては学習内容をより捉えやすくなり、教師にとっても学習の内容や目標、指導方法、教材の工夫を焦点化しやすい授業設計が可能となった





筑波大学附属大塚特別支援学校

研究開発

中学部理科・社会科

R8年 1月 21日 (水)





# 高等部

社会科・理科

2026.01.21

01

カリキュラムの工夫  
(理社共通)

02

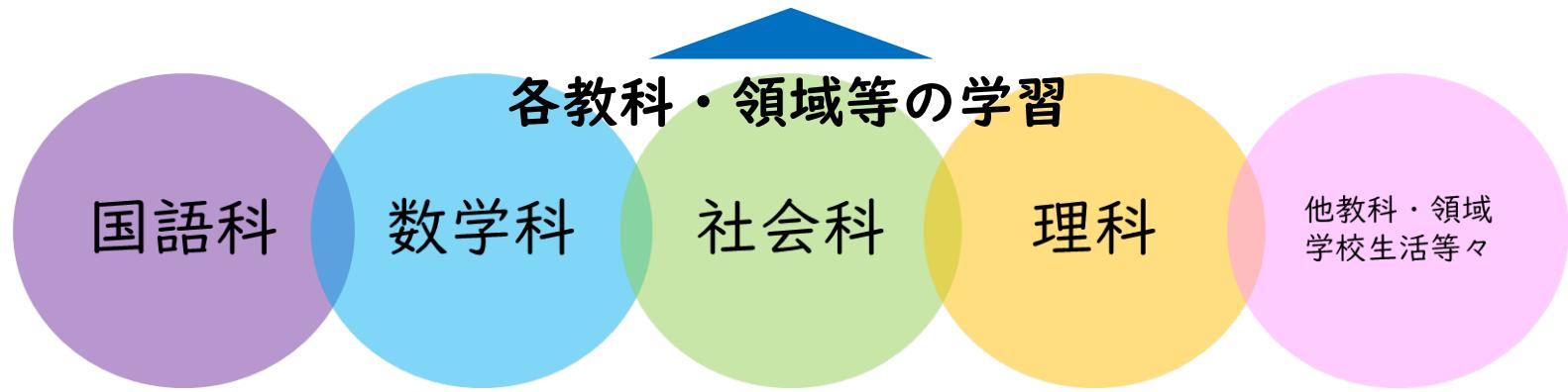
理科カリキュラム

03

社会科カリキュラム

## 01 カリキュラムの工夫 (理社共通)

## 学部教育目標の達成 (自立と社会参加)



教科学習を通して、  
学部教育目標にどのようにアプローチするか？

多角的に物事を捉え、選択したり解決したり、社会参加しようとする力を身に付ける。

科学的に物事を捉え、選択したり解決したりしようと  
する力を身に付ける。

= 見方・考え方を働かせて問題を解決する力

# 0 | カリキュラムの工夫 (理社共通)

学年ごとに実施  
国語／社会／外国語／家庭／美術  
／職業（学年）／学級活動／総合的な探究の時間

▶ 同学年の仲間で多様な意見を交えながら、または学年の行事と関連させながら学習する。

学習グループを編成して実施  
数学／理科／情報

▶ 知識・技能（言語理解、数量の理解）、思考・判断・表現（考える力、表現する力）、学習に取り組む態度（活動に向かう力）の実態を踏まえ、学習グループを編成して学習する。

学部全体で実施

	月	火	水	木	金
1				HR等	
2	国語	職業 (作業)	職業 (作業)	数学	特別活動
3	社会	職業 (作業)	職業 (作業)	理科	家庭
4	外国語	職業 (作業)	職業 (作業)	職業 (学年)	美術
5	情報	職業 (作業)	職業 (作業)	保健 体育	音楽
6		職業 (作業)	職業 (作業)	保健 体育	学級活動 ／総合
7				HR等	

# 01 カリキュラムの工夫 (理社共通)

- ・**身近な事象・具体的な事象、体験的な学習、生活に即した内容**
- ・地域や学習集団に即した「身近な」ものを**選択**して学習
- ・限られた時間数の中で卒後の社会生活を考慮した学習
- ・教育目標や地域性などを踏まえ、「指導内容」の「**優先順位**」を**選定**
- ・「歴史」、「外国の様子」の単元の取り扱いにくさを考慮し、他教科や学校行事等と関連させる
- ・1年間で複数の分野を配列
- ・資料の読み取りなど、**技能**を育っていくことを重視



- ・**身近な事象・具体的な事象、体験的な学習、生活に即した内容**
- ・学期ごとの単元の区切り
- ・各領域を**繰り返し**学ぶ機会
- ・2学期に配列する単元の調整
- ・観察のしやすい時期など、内容の特殊性を考慮
- ・1年間で複数の領域を配列
- ・「見方」の広がりをねらう
- ・3年間で**繰り返し**学ぶ機会

## 02 理科カリキュラム

### 重点化する問題解決の力

自然の事物・現象について、理解したり、初步的な観察実験の技能を身につけたりできるようにするとともに、比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点に気付き、疑問を持ち、表現できるようとする。

自然の事物・現象について、理解したり、初步的な観察実験の技能を身につけたりできるようにするとともに、関係付けて調べる活動を通して、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現できるようとする。

自然の事物・現象について、理解したり、初步的な観察実験の技能を身につけたりできるようにするとともに、条件を制御しながら調べる活動を通して自然の事物・現象について調べる中で、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。

自然の事物・現象について、理解したり、初步的な観察実験の技能を身につけたりできるようにするとともに、多面的に調べる活動を通して自然の事物・現象について調べる中で、より妥当な考え方をつくりだし、表現すること。

比較

関係付け

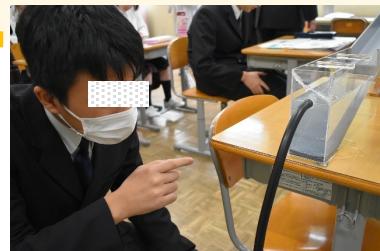
条件制御

多面的に

3グループ

2グループ

1グループ



## 02 理科カリキュラム

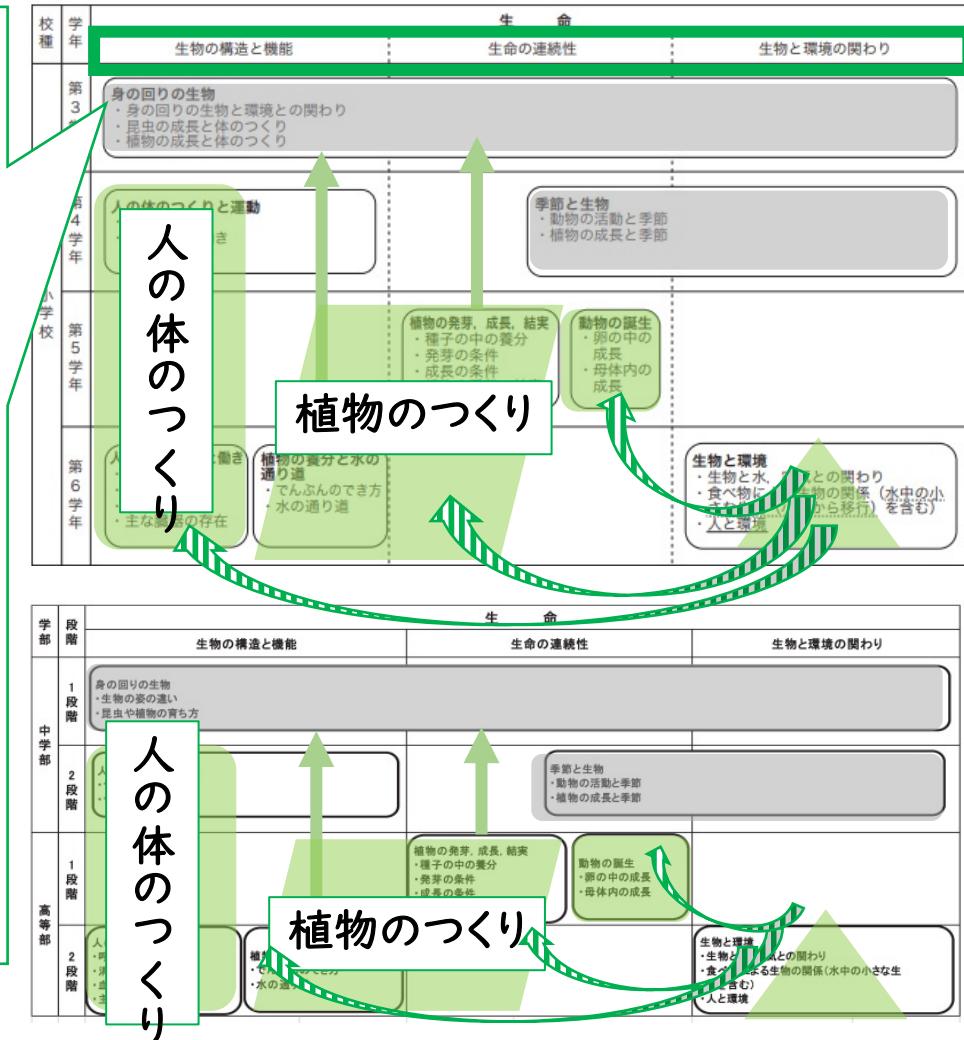
## 指導目標・指導内容の設定

	比較	関連付け	条件制御															
3 グ ル ー プ	<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。</p> <p>(カ) 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されること。</p> <p>イ 植物の体のつくりと働きについて関心をもったり調べたりする中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>																	
2 グ ル ー プ	<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。</p> <p>(ウ) 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。</p> <p>(オ) 植物の葉に日光が当たるとぐんぐんがされること。</p> <p>イ 植物の体のつくりと働きについて関心をもったり調べたりする中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、関係付けて調べる活動を通して、見いたした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 教員の解説や指示を受けながら、「条件制御」の考え方を働かせることもねらう。																
1 グ ル ー プ	<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。</p> <p>(カ) 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されること。</p> <p>イ 植物の体のつくりと働きについて関心をもったり調べたりする中で、体のつくり、体内の水などの行方について、比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点に気付き、疑問を持ち、表現すること。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>比較</th><th>関係付け</th><th>条件制御</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 グ ル ー プ</td><td></td><td> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。</p> <p>(エ) 土地は、礫れき、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関心をもったり調べたりする中で、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p> </td><td></td></tr> <tr> <td>2 グ ル ー プ</td><td></td><td> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関係付けて調べる活動を通して、見いたした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p> </td><td></td></tr> <tr> <td>1 グ ル ー プ</td><td></td><td> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点に気付き、疑問を持ち、表現すること。</p> </td><td></td></tr> </tbody> </table>		比較	関係付け	条件制御	3 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。</p> <p>(エ) 土地は、礫れき、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関心をもったり調べたりする中で、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>		2 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関係付けて調べる活動を通して、見いたした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>		1 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点に気付き、疑問を持ち、表現すること。</p>	
	比較	関係付け	条件制御															
3 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。</p> <p>(エ) 土地は、礫れき、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること。また、層には化石が含まれているものがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関心をもったり調べたりする中で、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>																
2 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(イ) 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について関係付けて調べる活動を通して、見いたした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>																
1 グ ル ー プ		<p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。</p> <p>(オ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。</p> <p>(カ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。</p> <p>イ 流れる水の働きや土地のつくりと変化について比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点に気付き、疑問を持ち、表現すること。</p>																

## 02 理科カリキュラム

# 【例】生命領域

選る単元がある・必要に応じ下学年・下学部対応も可能



## ●中高6年間を通じたカリキュラムモデルの検討

### (1) 単元をまとめる

「植物の発芽、成長、結実」「植物の養分と水の通り道」を1つの単元として設定する(仮称:植物のつくり)。取り扱う内容を、生徒の実態や学校環境等を考慮して選択して実施することを想定。

### (2) 現行中学部段階の内容を高等部で取り扱う

中学部「人の体のつくりと運動」の内容も含んだ構成で「人の体のつくりと働き」(仮称:「人の体のつくり」)を取り扱う。

### (3) 6年間でのバランスを考慮

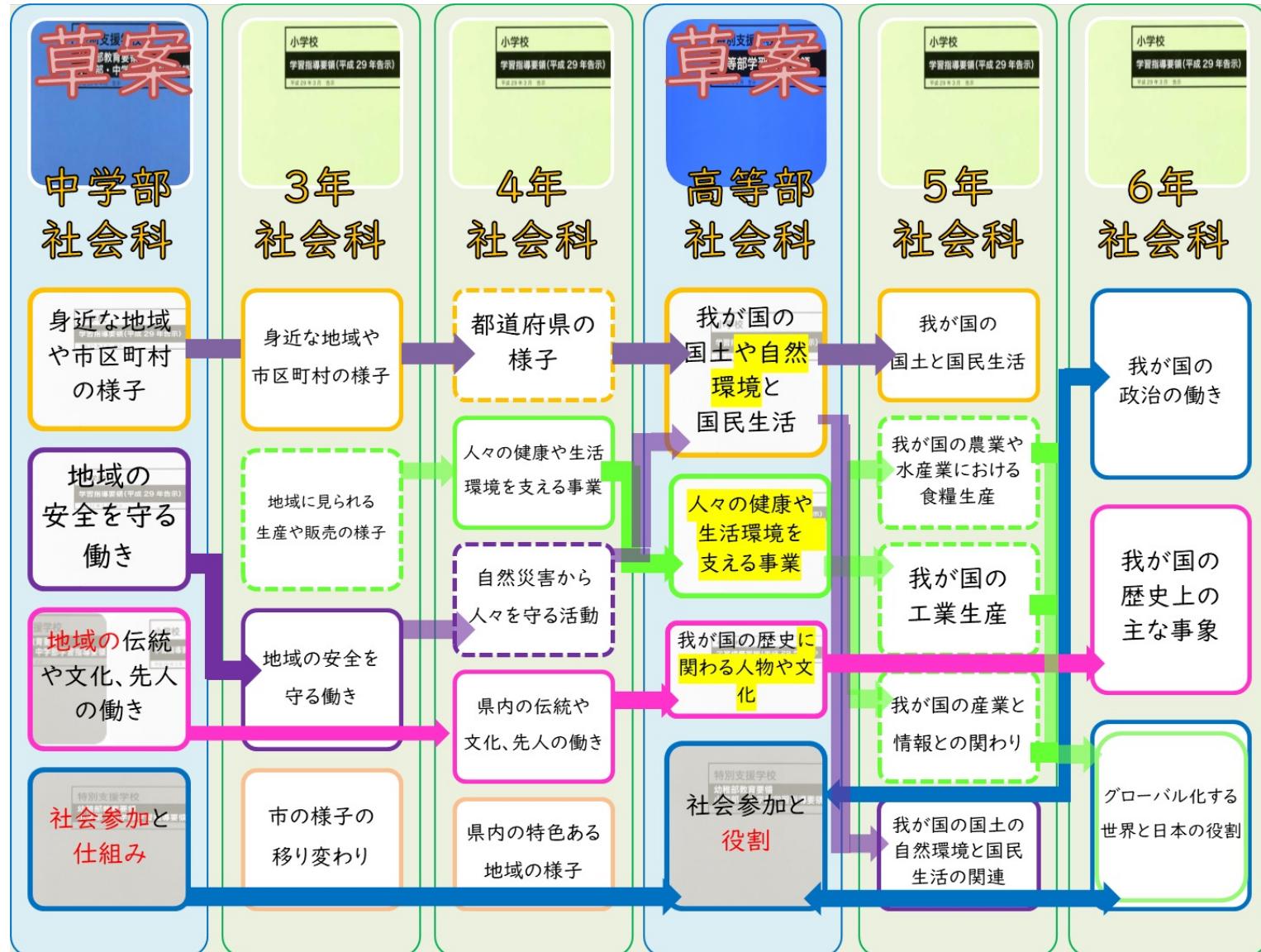
柱の1つ「生物と環境の関わり」は中学部の学習で取り扱う。「生物と環境」は、可能な範囲で単元のまとめに取り入れる。

### (4) 必要に応じ下学年下学部対応

## 02 理科カリキュラム

年次	1 学期	2 学期	3 学期
1 年次	<p style="text-align: center;"><b>【生命】 植物のつくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の発芽、成長、結実</li> <li>・植物の養分と水の通り道</li> </ul>		<p style="text-align: center;"><b>【地球】 天気の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の変化</li> </ul>
2 年次	<p style="text-align: center;"><b>【生命】 動物の誕生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の誕生</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【地球】 土地のつくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れる水の働きと土地の変化</li> <li>・土地のつくりと変化</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【エネ】 電気のしくみ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流の働き（中）</li> <li>・電気の利用</li> </ul>
3 年次	<p style="text-align: center;"><b>【生命】 人の体のつくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の体のつくりと運動（中）</li> <li>・人の体のつくりと働き</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【粒子】 燃焼のしくみ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼のしくみ</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【粒子】 物の溶け方と水溶液の性質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物の溶け方</li> <li>・水溶液の性質</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【エネ】 てこの規則性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・てこの規則性</li> </ul>

# 03 社会カリキュラム



## 03 社会カリキュラム

情報の  
収集

- ・保護者・教職員への聞き取り調査
- ・全校アンケート調査
- ・家や近所のフィールドワーク調査
- ・学校近隣のフィールドワーク調査

資料の  
読み取り

- (情報量を調整・補足した)
- ・統計資料
  - ・地図資料
  - ・写真資料
  - ・動画資料

まとめる

- ・動画
- ・壁新聞



# 03 社会カリキュラム

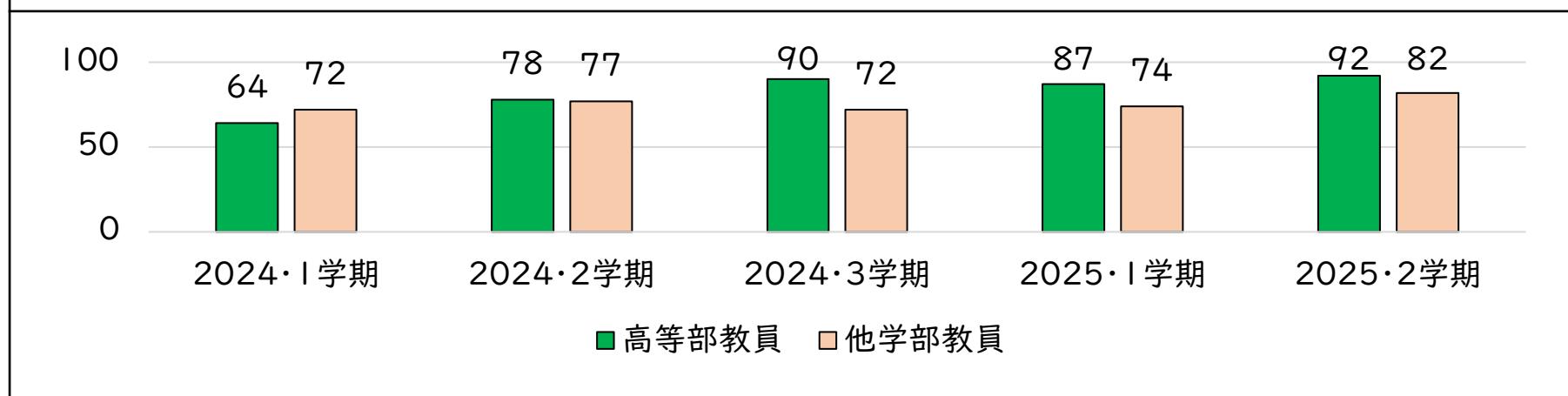
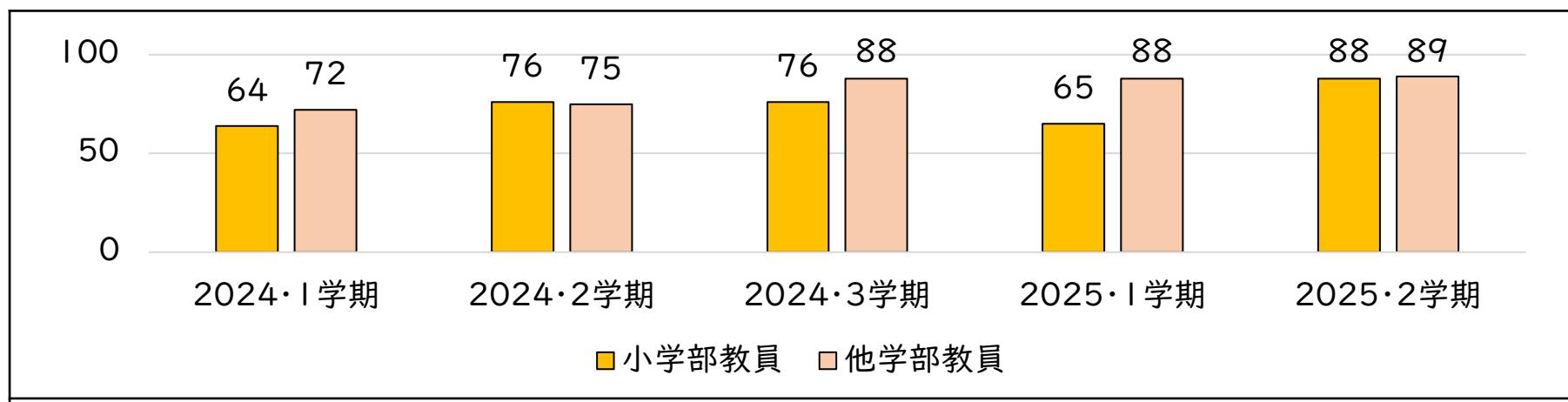
	1学期	2学期	3学期	
1年	<b>内容(1)</b> <b>我が国の国土や 自然環境と国民生活</b>  ・国土の地形や気候、人々の生活 ・国土の位置、構成、領土の範囲 ※実態に応じた題材の選択	<b>内容(3)</b> <b>我が国の歴史に関わる人物や文化</b>  ・各時代の先人の偉業、文化遺産 ※実態に応じた題材の選択	<b>内容(4)</b> <b>社会参加と役割</b>  ・法やきまり	
2年	<b>内容(2)</b> <b>人々の健康や生活環境を 支える事業（産業）</b>  ・食料生産、工業生産 ※地域に応じた項目の選択	<b>内容(3)</b> <b>我が国の歴史に関 わる人物や文化</b>	<b>内容(1)</b> <b>我が国の国土や 自然環境と国民生 活</b>  ・各時代の先人の偉業、文 化遺産 ※修学旅行との関連	<b>内容(4)</b> <b>社会参加と役割</b>  ・自分の役割や責任、権利や 義務 ・政治の仕組みや働き ※選挙出前授業との関連
3年	<b>内容(1)</b> <b>我が国の国土や 自然環境と国民生活</b>  ・自然災害、公害 ※地域に応じた項目の選択	<b>内容(2)</b> <b>人々の健康や生活環境を支える事業 (社会基盤)</b>	<b>内容(4)</b> <b>社会参加と役割</b>  ・私たちと経済（租税） ※他教科との関連	

### 3. 考察



# (I) 教師集団が主体となるカリキュラム開発

下図はカリキュラム評価「Q11.カリキュラムの意義（以上10項目から、このカリキュラムは100点満点で何点ですか？）」の平均点について、自学部と他学部で比較したものである。継続的に当該学部教員の評価が上昇を示したケース、実践の繰り返しを経て最後に評価が上昇したケースもある。このように学部状況に応じながらも、当該学部教員一人一人が主体的にカリキュラム開発に参画することが重要であり、2024年度1学期と2025年度2学期の平均点を比較すると、小学部は24点、中学部は16点、高等部は28点も数値が大きく上昇した。



## (2) カリキュラムの原理・原則

本研究におけるカリキュラム開発は各教科の授業時数、特に理科・社会科は「週1時間、年間35時間」をもとに検討を進めた。そのため資質・能力の育成は変わらない一方で、全ての内容を網羅的に扱うのではなく、授業時数を踏まえて内容の精選や創造に取り組むようにした。その際の視点として**特別支援学校学習指導要領の「知的障害のある児童生徒の教育的対応の基本」**や**「教科別に指導を行う場合」**、また**「OECD『カリキュラム開発に関する5つの教訓』」**(白井,2021)を参考に、「具体的」「体験的」「反復的」「段階的」のキーワードを整理した(下表)。

各教科、各学部の教育課程に応じながらも、学校全体で共通の視点をもとにカリキュラム開発に取り組むことで、考え方、評価改善の視点などより一体的に進めることができたと考えている。

キーワード	対象の計画や項目	考え方
具体的	学習活動	児童生徒にとって分かりやすく、具体的な活動内容に配慮されていること。
体験的	単元・授業の構成	児童生徒が進んで学習に取り組めるような体験的な活動に配慮されていること。
反復的	単元配列・単元・授業の構成	〈単元配列・各単元〉児童生徒が学習内容を想起したり関連付けたりする単元配列や各単元の内容に配慮されていること。 〈授業〉児童生徒が見通しをもちやすく進んで取り組もうとする流れに工夫されていること。
段階的	単元配列・単元・目標設定	児童生徒の実態に応じて、段階的に学習に取り組めるような段階性に配慮されていること。

### (3) 知的障害教育の継承と発展

研究を推進する上では現行特別支援学校学習指導要領の「知的障害のある児童生徒の教育的対応の基本」等をカリキュラム全体に意識しながら取り組んできた。今後に向けて、本研究で開発したカリキュラムで学びを積み重ねた児童・生徒の様子について抽出児童・生徒として、事例研究の視点からさらに深める余地があると考えている。ぜひ機会がある場合は再現性・妥当性の検証という観点からも継続的な実践を重ねたいと考えている。

特別支援学校 学習指導要領 小学校・中学校学習指導要領			
知的障害者である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校における指導の特徴について <b>「知的障害のある児童生徒の学習上の特性等」</b>			
〈特性〉			
①学習内容が断片的になりやすく、実生活で応用することが難しい。 ②成功経験の不足等から、主体的に活動に取り組む意欲が育っていないことが多い。			
教育的対応	学習環境	環境的条件	実態把握
・生活場面に即した学習 ・具体的に思考、判断、表現できる題材 ・繰り返しの学習 ・認めたり称賛したりする関わり	・教材や教具の設定 ・ICT機器の活用	・関わり方の一貫性や継続性の確保 ・周囲の理解	・学校の様子だけでなく、児童生徒の身の回りの生活環境における実態把握 ・児童生徒に関わる人々複数の目でみた実態把握

特別支援学校 学習指導要領 小学校・中学校学習指導要領	
知的障害者である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校における指導の特徴について <b>「知的障害のある児童生徒の教育的対応の基本」</b>	
	内容
(1)	児童生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況や経験等を考慮して教育的ニーズを的確に捉え、育成を目指す資質・能力を明確にし、指導目標を設定するとともに、指導内容のより一層の具体化を図る。
(2)	望ましい社会参加を目指し、日常生活や社会生活に生きて働く知識及び技能、習慣や学びに向かう力が身に付くよう指導する。
(3)	職業教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能、態度及び人間性等が育つよう指導する。その際に、多様な進路や将来の生活について関わりのある指導内容を組織する。
(4)	生活の課題に沿った多様な生活経験を通して、日々の生活の質が高まるよう指導するとともに、よりよく生活を工夫していく意欲が育つよう指導する。
(5)	自発的な活動を大切にし、主体的な活動を促すようにしながら、課題を解決しようとする思考力、判断力、表現力等を育むよう指導する。
(6)	児童生徒が、自ら見通しをもって主体的に活動できるよう、日課や学習環境などを分かりやすくし、規則的でまとまりのある学校生活が送れるようにする。
(7)	生活に結びついた具体的な活動を学習活動の中心に据え、実際的な状況下で指導するとともに、できる限り児童生徒の成功経験を豊富にする。
(8)	児童生徒の興味や関心、得意な面に着目し、教材・教具・補助用具やジグ等を工夫するとともに、目的が達成しやすいように、段階的な指導を行うなどして、児童生徒の学習活動への意欲が育つよう指導する。
(9)	児童生徒一人一人が集団において役割が得られるよう工夫し、その活動を遂行できるようにするとともに、活動後は充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する。
(10)	児童生徒一人一人の発達の側面に着目し、意欲や意思、情緒の不安定さなどの課題に応じるとともに、児童生徒の生活年齢に即した指導を徹底する。